

簡単に、たっぷりと、使いやすく。機能性に満ちたユーティリティー。

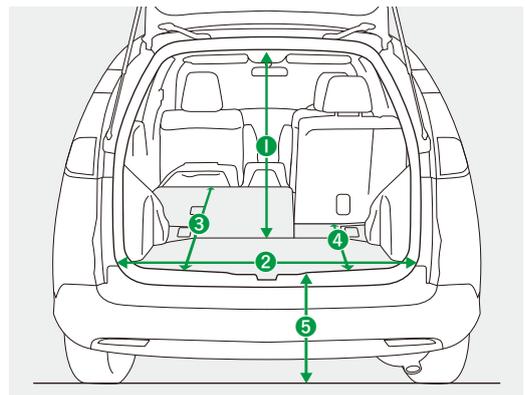
荷室からでもレバーを引くだけでスペースが広がる、ワンモーションフォールドダウンリアシート。

たくさんの荷物を積載する際など、荷室から簡単な操作で後席のシートをたためるワンモーションフォールドダウンリアシートを実現。荷室のサイドライニングに設置したレバーを引くだけで、リアシートのシートクッションが持ち上がると同時にヘッドレストとシートバックが可倒し、すっきりと格納。素早く奥行きのある荷室へと変化します。また、シートは左右6:4に分かれているため、乗車人数や荷物の量に合わせた自由なアレンジが可能です。さらに、リアドアからでも同様の操作が行えるよう、シートクッションの両サイドにストラップを設置しています。



低く、広く、大きく。使い勝手に優れたゆとりの荷室。

低床でフラットな設計により、荷物の出し入れがしやすい低い開口部地上高を実現。その低い位置から大きく開くテールゲートによって、高さのある荷物でもスムーズな積み下ろしを可能にしています。また、エクステリアの大きな特徴のひとつでもある個性的なテールゲート形状が、荷室容量にも大きく寄与。荷室の後端まで高さを確保したことなどによって、従来モデルを超える589L(5名乗車時)の大容量を実現。さらに、トノカバーの設置位置も高くすることにより、プライバシーの保護とともに、積載性を向上しました。



トノカバーを全車に標準装備

① 荷室高	985mm
② 荷室床面幅(最大)	1,345mm
③ 荷室床面長(リアシートフォールドダウン時※1)	1,570mm
④ 荷室床面長(リアシート通常時※2)	950mm
⑤ 開口部地上高	665mm
荷室容量	5名乗車時 589L / 2名乗車時 1,146L

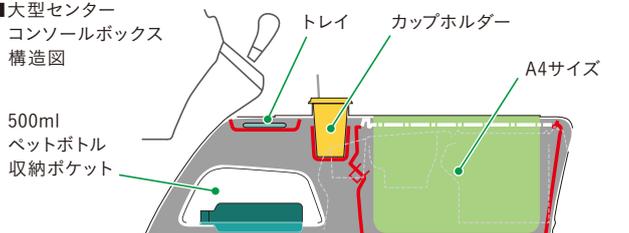
※1 フォールドダウンしたリアシート座面裏からテールゲートまでの荷室床面長
 ※2 リアシートの背もたれ裏からテールゲートまでの荷室床面長
 数値はすべてHonda測定値(荷室容量はVDA方式による)

大容量ボックスをはじめ、使い勝手に優れた充実の収納装備。

センターコンソールにA4サイズのバッグ※が収納可能な深く幅のあるボックスを設置。カップホルダーやトレイ、500mlペットボトルが入るポケットなども一体成形しました。そのほか空間の適所にさまざまな収納スペースを配置。空間全体で使い勝手を高めています。

※バッグのサイズ・形状によっては入らない場合があります。

■大型センターコンソールボックス構造図



大型センターコンソールボックス(リッド付)